

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

1) 著者：小川康雄

題名：電磁波で見た地震発生場と火山

発表先：地球電磁気・地球惑星圏学会（相模原）

発表年月：平成18年11月6日

2) 著者：小川康雄・糸魚川ー静岡構造線断層帯 MT 観測グループ

題名：糸魚川静岡構造線断層帯の比抵抗構造-甲府盆地西縁と諏訪湖周辺

発表先：CA研究会、(京都大学防災研究所)

発表年月：平成19年3月4日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定 なし

3.1 断層帯周辺における自然地震観測（長期機動観測）

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

1) 著者：武田哲也・佐藤比呂志・岩崎貴哉・松多信尚・酒井慎一・飯高隆・加藤愛太郎

題名：北部フォッサマグナ周辺の屈折法探査データの再解析による地殻構造の解明

発表先：月刊地球，号外50

発表年月：平成18年4月

2) 著者：武田哲也・小原一成・笠原敬司・岩崎貴哉

題名：自然地震および人工地震データから推定された糸魚川ー静岡構造線地殻構造

発表先：日本地震学会2005年度秋季大会（講演予稿集 P078）

発表年月：

3) 著者：Takeda, T. Kasahara, K. Asano, Y.

題名：Segmentations of the Itoigawa-Shizuoka Tectonic Line active fault system, central Japan, inferred from seismic tomography

発表先：the 12th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their Margins (SDE-P04)

発表年月：平成18年9月27～29日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定 なし

3.2 自然地震観測（稠密アレーによる自然地震観測）

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

1) 著者：パナヨトプロス・ヤニス・平田直・佐藤比呂志・加藤愛太郎・今西和俊・長郁夫・桑原保人

題名：南アルプス地域・糸魚川ー静岡構造線断層帯付近の地震活動と地殻構造

発表先：日本地震学会 秋季大会、名古屋国際会議場、

発表年月：平成18年10月31日～11月1日

- 2) 著者：Panayotopoulos Y. N. Hirata, H. Sato; T. Iwasaki, A. Kato A., K. Imanishi, I. Cho, Y. Kuwahara
題名：Seismicity and crustal structure along the southern Japanese Alps segment Itoigawa-Shizuoka tectonic line
発表先：The 12th International Symposium on "Deep Seismic Profiling of the Continents and Their Margins", Hayama, Japan
発表年月：平成18年9月24～29日
- 3) 著者：Panayotopoulos, Y., N. Hirata, H. Sato, A. Kato, K. Imanishi, I. Cho, Y. Kuwahara
題名：Seismicity and Crustal Structure Along the Southern Japanese Alps Segment of the Itoigawa-Shizuoka Tectonic Line
発表先：*Eos Trans. AGU*, 87(52), Fall Meet. Suppl., Abstract T42B-01
発表年月：2006年12月14日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定 なし

3. 3 断層帯周辺における自然地震観測（稠密アレー観測による微小地震のメカニズム、応力解析）

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

- 1) 著者：今西和俊、長郁夫・桑原保人、平田直・パナヨトプロスヤニス
題名：糸魚川－静岡構造線中・南部における微小地震の震源メカニズム解
発表先：地球惑星科学関連2006年合同大会
発表年月：平成18年5月16日

- 2) 著者：今西和俊・長郁夫・桑原保人・平田直・パナヨトプロスヤニス
題名：糸魚川－静岡構造線活断層系中・南部域における微小地震の発震機構解
発表先：活断層・古地震研究報告
発表年月：平成18年11月，第6号，55-70.

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定 なし

4 地震時断層挙動（活動区間・変位量分布）の予測精度向上に向けた変動地形調査

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

- 1) 著者：鈴木康弘・糸魚川－静岡構造線活断層帯重点調査観測変動地形グループ

- 題名：糸魚川－静岡構造線活断層帯の地震時断層挙動および強震動の予測精度向上に資する変動地形調査
発表先：地球惑星科学連合 2006 年大会
発表年月：平成 18 年 5 月 15 日
- 2) 著者：澤 祥・糸魚川－静岡構造線活断層帯重点調査観測変動地形グループ
題名：糸魚川－静岡構造線活断層帯北部の変動地形調査および航測解析による平均変位速度解明とその意義
発表先：地球惑星科学連合 2006 年大会
発表年月：平成 18 年 5 月 15 日
- 3) 著者：鈴木康弘・坂上寛之・内田主税・石黒聡士・糸静線重点調査変動地形グループ
題名：デジタル航測データを基盤とした活断層GIS のコンセプトと成果－糸静線活断層帯の詳細位置および地震動予測の基礎情報－
発表先：日本地理学会 2007 年春季学術大会
発表年月：平成 19 年 3 月 20 日
- 4) 著者：谷口 薫・鈴木康弘・澤 祥・松多信尚・渡辺満久・糸静線重点調査変動地形グループ
題名：糸静線活断層帯中北部における変動地形調査およびピット調査(速報)－松本および塩尻付近の断層トレースの見直しとその意義－
発表先：日本地理学会 2007 年春季学術大会
発表年月：平成 19 年 3 月 20 日
- 5) 著者：澤 祥・渡辺満久・鈴木康弘・谷口 薫・田力正好・杉戸信彦・廣内大助・松多信尚・糸魚川－静岡構造線活断層帯重点的調査観測・変動地形グループ
題名：糸魚川－静岡構造線活断層帯中北部(松本～諏訪～茅野)の変動地形調査および航測解析による平均変位速度解明
発表先：地球惑星科学連合 2007 年大会
発表年月：平成 19 年 5 月 23 日(発表予定)
- 6) 著者：杉戸信彦・澤 祥・田力正好・松多信尚・谷口 薫・糸魚川－静岡構造線活断層帯重点的調査観測変動地形グループ
題名：糸魚川－静岡構造線活断層帯北部の白馬村・池田町におけるボーリング調査(速報)
発表先：地球惑星科学連合 2007 年大会
発表年月：平成 19 年 5 月 23 日(発表予定)
- 7) 著者：田力正好・杉戸信彦・糸魚川－静岡構造線活断層帯重点的調査観測変動地形グループ
題名：糸魚川－静岡構造線活断層帯中北部、諏訪湖北岸～茅野付近の変動地形と諏訪盆地の形成
発表先：地球惑星科学連合 2007 年大会

発表年月：平成19年5月23日（発表予定）

- 8) 著者：渡辺満久・鈴木康弘・澤 祥・谷口 薫・糸魚川一静岡構造線活断層帯重点的調査
観測変動地形グループ

題名：糸静線活断層帯の「塩尻峠ギャップ」への疑問

発表先：地球惑星科学連合2007年大会

発表年月：平成19年5月23日（発表予定）

- 9) 著者：澤 祥・谷口 薫・渡辺満久・廣内大助・松多信尚・鈴木康弘・内田主税・佐藤善
輝・田力正好・杉戸信彦・石黒聡士・隈元 崇・佐野滋樹・野澤竜二郎・坂上寛之・
安藤俊人

題名：糸魚川一静岡構造線断層帯中北部、松本盆地南部・塩尻峠および諏訪盆地南岸の変
動地形の再検討

発表先：活断層研究, 27

発表年月：投稿準備中

- 10) 著者：田力正好・杉戸信彦・澤 祥・谷口 薫・廣内大助・松多信尚・佐藤善輝・石黒
聡士・安藤俊人・内田主税・坂上寛之・隈元 崇・渡辺満久・鈴木康弘

題名：糸魚川一静岡構造線活断層帯中部、諏訪盆地北東縁の変動地形とその認定根拠、お
よび変位速度分布

発表先：活断層研究, 27

発表年月：投稿準備中

- 11) 著者：Yasuhiro Suzuki, Hiroshi Sawa, Mitsuhiisa Watanabe, Masayoshi Tajikara,
Nobuhisa Matsuta, Daisuke Hirouchi, Nobuhiko Sugito, and Takashi Kumamoto

題名：Tectonic geomorphological survey of the Itoigawa-Shizuoka Tectonic Line,
Japan toward forecasting the behavior of active faulting and strong
earthquake motion

発表先：XXVII INQUA Congress

発表年月：平成19年7月（発表予定）

- (b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定 なし

5 強震動評価高精度化のための強震観測・地下構造調査

- (a) 成果の論文発表・口頭発表等

- 1) 著者：山中浩明

題名：ハイブリッドヒューリスティック探索による位相速度の逆解析

発表先：第115回物理探査学会

発表年月：平成18年10月16日

- 2) 著者：瀨瀬一起・古村孝志・三宅弘恵・川崎慎治・須田茂幸・川中卓

題名：S 波バイブレータによる反射法探査実験(2) — 2006 年松本市における実験 —
発表先：日本地球惑星科学連合 2007 年大会
発表年月：平成 19 年 5 月 19 日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定 なし

6 GPS 観測による詳細地殻変動分布の解明

特になし

7 干渉 SAR による構造線断層帯周辺の地殻変動検出

特になし